



## 労働協約を最大限生かして 職場から東労組運動を展開しよう！

**No.1**

会社からの通告により、労使共同宣言が事実上失効している状況で多くの組合員から「会社との議論が全く出来なくなるのでは？」不安の声が上がっています。

### 労使共同宣言とは何なのか？

労使共同宣言とは、労働協約・協定の一つです。国鉄改革を経てJR東日本が発足以降、国鉄時代の不毛な労使関係から会社の発展と組合員と家族の幸福実現のために、会社内における問題は経営協議会や団体交渉の場等を最大限活用し、労使間の真摯な話し合いにおいて解決を図るとしたものです。

### 労使共同宣言が失効したら組合活動はどうなるの？

労働者一人一人の立場は使用者よりも弱いことを前提として、労働者が団結して会社と対等な立場で交渉が出来るように労働組合の活動は憲法や法律で保護されています。

労使共同宣言が失効していても、JR東労組は会社と労働協約（労働組合と会社の取り決め）を締結しているので、今まで通り会議室での集会や総対話、組合掲示板を使用した情報宣伝などの活動が保証されています。

### 法律上の優先順位

憲法 > 労働法規 > 労働基準法 > 労働協約 > 就業規則 > 雇用契約

\* 就業規則より、労働協約が優先されるため就業規則で禁止されている職場内の組合活動も協約に沿って組合活動を行うことができます。

**労働協約は組合員にしか適用されません。職場で東労組組合員が全体の3/4以下になると、脱退した方には就業規則が適用されます。脱退したら「会社が守る」と言っているそうですが、本当ですか！？**

**東労組が潰されたら安全で働きやすい職場は崩壊します。不確かな情報や脱退策動に動じず、今こそ全組合員で団結するときです！**